

子育て世代包括支援センターにおける関係部署との連携について

公明党
五十嵐 みさ 議員



▲子育てするならふっさロゴマーク

質問 新たに母子保健から子育て支援等を展開するに当たり、子どもの福祉へどのようにつながるのか、また、ライフステージごとの支援に関し、子育て世代包括支援センターと関係部署がどう連携するか伺う。

市長 センターでは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の道標となる支援プランを作成。支援プランに基づく支援開始後は、庁

内関係各課が連携してサービスを提供するとともに、定期的にプランを評価して状況に応じ見直すなど、進行管理も行う。母子保健施策と子育て施策などが連携し、切れ目のない一元化した支援提供体制を構築する。

世代を超えた育児参加について

質問 祖父母や地域社会の育児参加は大変有意義なことだが、子育て

の方法は以前とは大きく変化しており、トラブルの原因にもなる。世代の異なる育児方法を啓発することが有効ではないか。市の所見を伺う。

市長 離乳食教室、育児相談等で祖父母に最新情報を提供しており、周知を工夫したい。地域社会の育児参加では、子育てサロンで情報提供している。今後も、世代を超えた育児参加のしやすい事業の展開を進める。

家庭学習の推進における市の取り組みについて

正和会
武藤 政義 議員



▲家庭学習で活用されているタブレット

質問 家庭学習の習慣が身につかずに悩む保護者は多い中、家庭学習の推進に向けた取り組みを伺う。また、タブレットが導入されたが、子どもたちの反応やその成果はどうか。

教育長 主な取り組みでは、①ふっさっ子スタンダード等による学習や生活習慣の啓発、②タブレット用算数ソフトの活用、③小中一貫教育推進委員会における研究等がある。

タブレットは平成29年9月から本市小学3年生全員に貸与。子どもたちから「やり始めるとどんどんやりたくなる」「紙のドリルと違いすぐに採点してくれる。先生がそばにいたい」等の声が上がっている。今後も保護者との連携を第一義とし、家庭学習の充実を図っていく。

環境確保条例について

質問 苦情の種類や件数、傾向や、対応に苦勞することなどを伺う。

生活環境部長 10月末までの平成29年度実績で大気汚染3件、航空機を除く騒音9件、悪臭4件、雑草17件、そのほか33件。外国人居住者の事案では、文化や生活習慣の違いから苦情となり、言葉の違いもあることから、解決に時間を要している。

福生駅西口地区市街地再開発における公共交通施策の導入検討について

公明党
堀 雄一郎 議員



▲福生駅西口の様子

質問 都市機能の効率的な集約についても検討していると思うが、福生駅西口が魅力ある中心市街地になったとしても、肝心の市民が足を運びにくくは困る。ユニバーサルデザインの視点を持った新たな公共交通施策の導入検討につき所見を伺う。

市長 本市では、大部分のエリアで基幹の公共交通が充実しているが、都市機能を集積する拠点へのアクセ

シビリティを高め、特に公共交通不便エリアでの高齢者等の移動手段を確保するため、関係機関と連携しながら、道路を含めた効果的なネットワーク形成のための施策を展開したい。

就学援助における「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」増額と入学前支給について

質問 文部科学省は、新入学児童生徒学用品費の単価等を見直し、対

象者に就学予定者を加えた。平成30年度実施に向けて準備を進めていると思うが、予算措置やシステム変更、要綱改正等について所見を伺う。

教育長 保護者の経済的負担を軽減するため、小・中学校入学前の平成31年3月に新入学児童生徒学用品費を支給できるよう、必要な電算システムの改良と支給額の見直しを平成30年度予算に計上すべく調整中。

新奥多摩街道、志茂歩道橋付近の危険解消について

日本共産党
池田 公三 議員



▲志茂歩道橋付近の様子

質問 歩道橋そのものが、歩行者だけではなく運転者にとっても大変危険な建築物になっている。平成29年2月には事故が発生した。歩道橋を撤去し、横断歩道と連動信号機を設置して危険を解消することが一番望ましいが、市の見解を伺う。

市長 歩道橋を管理する都では、利用者数の状況や地元の理解・合意等、条件に合えば、警察署と協議、

調整の上で撤去すること。地元町会・自治会や小学校等の要望を受けて、本市から都へ要望する。横断歩道と連動信号機の設置についても、警察署に地元の要望が必要となる。

学校給食費補助(牛乳代の3%補助)の見直しについて

質問 本市の牛乳代3%補助(26円/月)は、消費税3%導入時に実施してきたものであり、その目的や

金額から見ても見直す時期に来ている。学校給食費補助・無料化の動きは全国的に広がっている。本市も地方自治体の責任分担として、学校給食費4分の1補助を実施しては。

教育長 学校給食費補助は、本市の就学支援制度が総体的に他市を上回っており、見直し等は考えていない。国等の情報収集をしていくが、4分の1補助を検討する考えはない。

横田基地軍人等の法遵守とマナーについて

公明党
原田 剛 議員



▲市内の英語警告看板

質問 以前から迷惑行為はあるが、最近は物損や街頭での騒音等がさらに増加している。法遵守やマナーについて横田基地でどのように教育・指導されているのか。あわせて夜間9時以降等、福生不動尊から都道までの道を通行規制できないか伺う。

市長 横田基地広報部によれば、全階級の空軍兵を対象にさまざまな教育を行っているとのこと。どこを

通行しても近隣住民に迷惑をかけることが重要である。国も米軍人のマナー等について申し入れており、本市も、都と5市1町での総合要請等を通じて引き続き強く要請する。

質問 本市内の方に迷惑をかけているのは許せない。基地側に被害状況が伝わっているか疑問だ。防犯カメラ等を設置できないか。

総務部長 通学路を除く市道の防

犯カメラ設置は、町会・自治会、商店会等の地域の方々には設置主体となってもらい、本市は設置費用の一部を補助している。該当の付近には英語警告看板を設置している。

質問 どうすれば被害がなくなるかを考えてもらいたい。通行規制や防犯カメラに限らずとも、市として何か対応できないか。

総務部長 何か対応を考えたい。